

## 子ども・子育て県民意識調査について

## (調査の目的)

子育て満足度日本一の実現に向け、「おおいた子ども・子育て応援（第3期計画）」に基づく各種施策の充実を図るため、プランの総合的な評価等の進捗状況の把握

## (調査の概要)

- 1 調査期間 平成30年11月15日～11月30日
- 2 調査対象者 就学前児童の保護者 県下18市町村2,020人を無作為抽出  
小学生の保護者 県下18市町村 980人を無作為抽出  
計 県下18市町村3,000人を無作為抽出
- 3 回収率 就学前児童の保護者 48.3% 有効回答数 976人  
小学生の保護者 43.4% 有効回答数 425人  
計 46.7% 1,401人

## (主な調査結果)

## 1 「おおいた子ども・子育て応援プラン（第3期計画）」の総合的な評価項目

(1) 子育てが地域の人に支えられていると十分に感じる、まあまあ感じると答えた人の割合（就学前児童・小学生を持つ親）

H28年度	H29年度	H30年度
67.5%	69.3% (H28→H29 1.8ポイント増)	69.9% (H29→H30 0.6ポイント増)

(2) 住んでいる地域の子育ての環境や支援への満足度が高い、やや高い人の割合

(就学前児童を持つ親)

H28年度	H29年度	H30年度
42.2%	41.1% (H28→H29 1.1ポイント減)	54.1% (H29→H30 13ポイント増)

## 2 その他の主な項目

(1) 理想とする子どもの数、予定している子どもの数と現在の子どもの数

	H28年度	H29年度	H30年度
理想	2.77人	2.74人 (H28→H29 0.03人減)	2.77人 (H29→H30 0.03人増)
予定	2.41人	2.43人 (H28→H29 0.02人増)	2.39人 (H29→H30 0.04人減)
現在	2.22人	2.23人 (H28→H29 0.01人増)	2.17人 (H29→H30 0.06人減)

【参考】国「第15回出生動向基本調査」(H27実施) 理想 2.32人 予定 2.01人

(理想よりも予定の子どもの数の方が少ない理由 上位3つ)

	H28年度	H29年度	H30年度
①子育てや教育にお金がかかりすぎるから	67.1%	65.6%	66.1%
②高年齢で生むのはいやだから	26.7%	23.4%	25.5%
③自分の仕事(勤めや家業)が忙しいから	26.8%	24.8%	23.6%

(2) 子育てについて気軽に相談できる人の有無 (いる)

H28年度	H29年度	H30年度
85.6%	86.1% (H28→H29 0.5ポイント増)	86.9% (H29→H30 0.8ポイント増)

(3) 希望した時期や時間での保育・子育て支援サービスの利用の可否 (利用できる)

H28年度	H29年度	H30年度
71.6%	70.4% (H28→H29 1.2ポイント減)	72.2% (H29→H30 1.8ポイント増)

(4) 子どもが生まれる前に赤ちゃんのおむつ替えや食事をさせた経験の有無 (経験なし)

H28年度	H29年度	H30年度
58.4%	56.8% (H28→H29 1.6ポイント減)	58.5% (H29→H30 1.7ポイント増)

(5) 子育てに関する情報の入手先 (上位3つ)

	H28年度	H29年度	H30年度
①親族	66.0%	67.0%	67.2%
②保育所・幼稚園・学校	71.5%	66.5%	62.0%
③近所の人・地域の知人・友人	57.3%	58.5%	59.7%

(伸び率の上位3つ) ※H29年度、H30年度比

①児童書や子育て雑誌など	35.1% (H29年度28.8%) <u>※6.3ポイント増</u>
②携帯用子育てサイト(スマートフォンアプリを含む)	39.3% (H29年度33.8%) <u>※5.5ポイント増</u>
③産婦人科・小児科	35.5% (H29年度30.4%) <u>※5.1ポイント増</u>

#### (6) 子育て支援サービスの周知度

(就学前児童の保護者・上位3つ)

	H28年度	H29年度	H30年度
①おおいた子育てほっとクーポン	89.6%	89.0%	88.8%
②一時預かり	88.5%	88.5%	88.5%
③病児保育	85.5%	85.0%	87.2%

#### (7) 子ども・子育て支援において重要であるとするもの(上位3つ)

	H28年度	H29年度	H30年度
①経済的な支援	73.2%	72.8%	75.4%
②保育所の充実等の子どもを預かる事業拡充	43.7%	43.7%	40.5%
③小児医療体制整備など子どもへの健康支援	34.6%	35.4%	30.3%

#### (8) 子育てにかかる費用において、最も負担が大きいと感じているもの【新】

(就学前児童の保護者・上位3つ)

	H28年度	H29年度	H30年度
①保育料、幼稚園授業料	—	—	41.5%
②食費	—	—	11.0%
③日用品費	—	—	8.8%

(小学生の保護者・上位3つ)

	H28年度	H29年度	H30年度
①習い事、お稽古費用	—	—	31.6%
②食費	—	—	28.3%
③衣類費	—	—	10.9%

(9) 父親の育児・家事の一日あたり平均参加時間

(就学前児童の保護者)

	H27年度	H29年度	H30年度
育児	216分	239分	225分
家事	48分	64分	50分
計	264分	303分	275分

※H28年度については、設問形式を変更したため比較に含めていない

(10) 父親の子育てへの参加割合が低い理由 (上位3つ)

	H28年度	H29年度	H30年度
①仕事で子育てをする時間がとれないから	75.0%	80.0%	80.5%
②「子育ては女性の仕事」と考えているから	30.9%	31.5%	29.0%
③子育て参加を後押しする行政支援が少ないから	12.2%	12.1%	12.6%